

4

課外活動について

参加状況..... 42

現在、課外活動へは**7割以上**の学生が参加

参加している学生の**89.2%**は大学生生活が充実。参加していない場合**73.4%**に留まる。

費用と時間..... 44

活動と学年によって**費用負担と活動時間の違い**が大きい

4,000円未満が男性で**32.0%**、女性では**43.7%**

不参加・途中退会の理由..... 45

活動内容の不一致、就職活動、人間関係のトラブルが**主な理由**

学業と両立しないという回答が**22.9%**、自分に合ったサークルがないという回答も**19.3%**

ボランティア活動..... 46

3割の学生はボランティア体験あり、**女性の積極的参加が顕著**

人間科学部の学生は「障がい者支援」(**16.7%**)や「幼児・児童支援」(**14.9%**)など多岐にわたる領域で積極的に参加





現在、課外活動へは 7割以上の学生が参加

参加状況

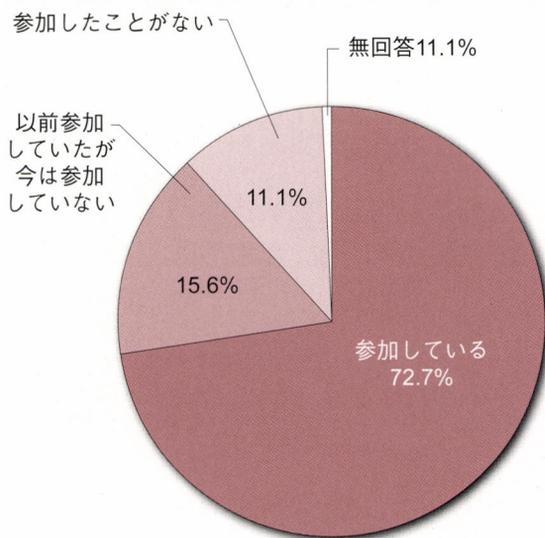
POINT

参加している学生の**89.2%**は大学生活が充実。
参加していない場合**73.4%**に留まる。

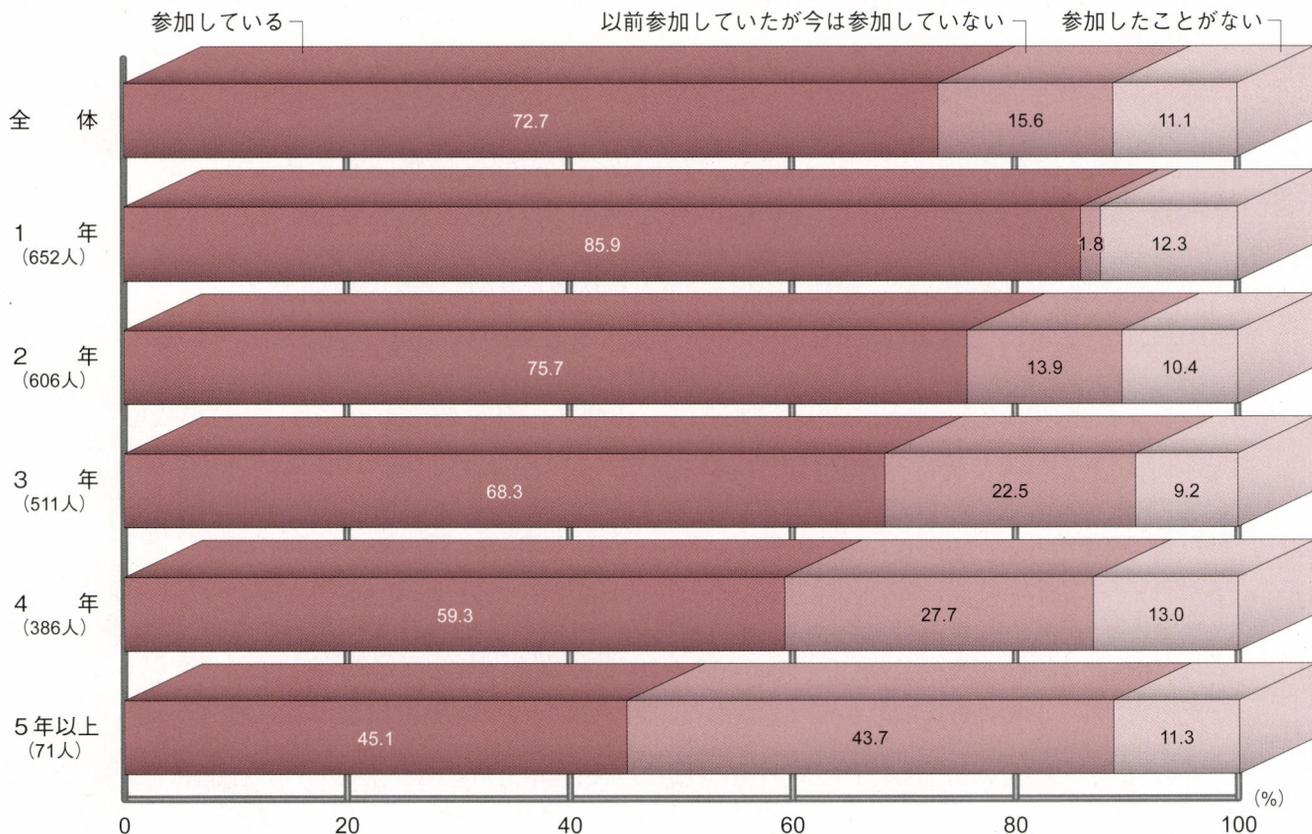
体育各部・サークル活動といった課外活動への参加状況を見ると、「参加している」が72.7%と7割以上の学生が現在課外活動に参加していると回答しています。これは学年が上がるにつれて徐々に低下していき、「以前参加していたが今は参加していない」の回答が増えていきます。ただ「参加したことがない」という回答はいずれの学年もほぼ1割程度で大きな変化はみられません。

グラフには示していませんが、学部間の違いは確かにあり、第二文学部は「参加したことがない」が25.0%に達しています。この傾向は従来から見られ、他の学部との在学時間の違いなどが指摘されてきました。一方、法学部は「以前参加していたが今は参加していない」の回答が24.1%と有意に多くなっています。これは比較的早い段階で資格試験などに専念するため課外活動を引退する学生が多いことの反映かもしれません。

現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？



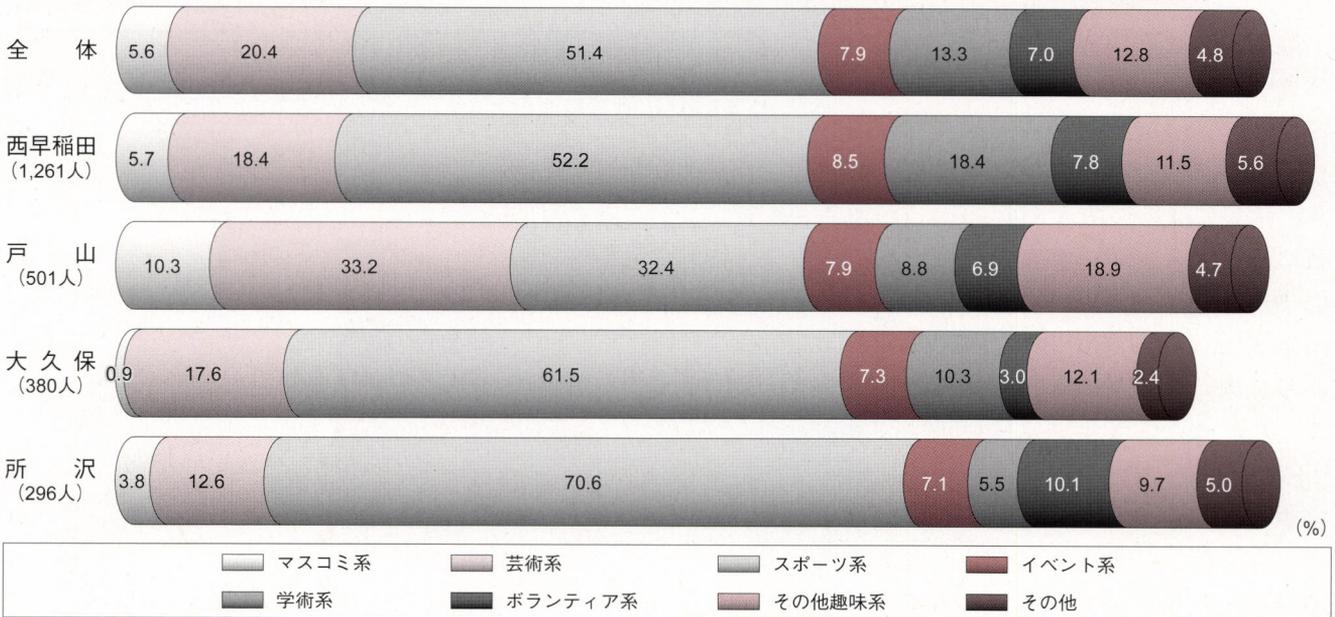
現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？ 学年別



参加していたジャンルについては、キャンパスごと、特に戸山キャンパスに特色が見られます。「マスコミ系」、「芸術系」への参加者が相対的に他のキャンパスより有意に多くなっている一方、「スポーツ系」への参加者は32.4%となっており、大久保キャンパス（61.5%）や所沢キャン

パス（70.6%）と比較して参加者の割合は低くなっています。また、「学術系」サークルへの参加率は西早稲田キャンパスが相対的に高くなっており、「ボランティア系」への参加率は大久保キャンパスが低くなっているようです。

[課外活動に「参加している」、「以前参加していたが今は参加していない」と回答した人にお尋ねします] どんなジャンルですか（でしたか）？ [複数回答可] キャンパス別

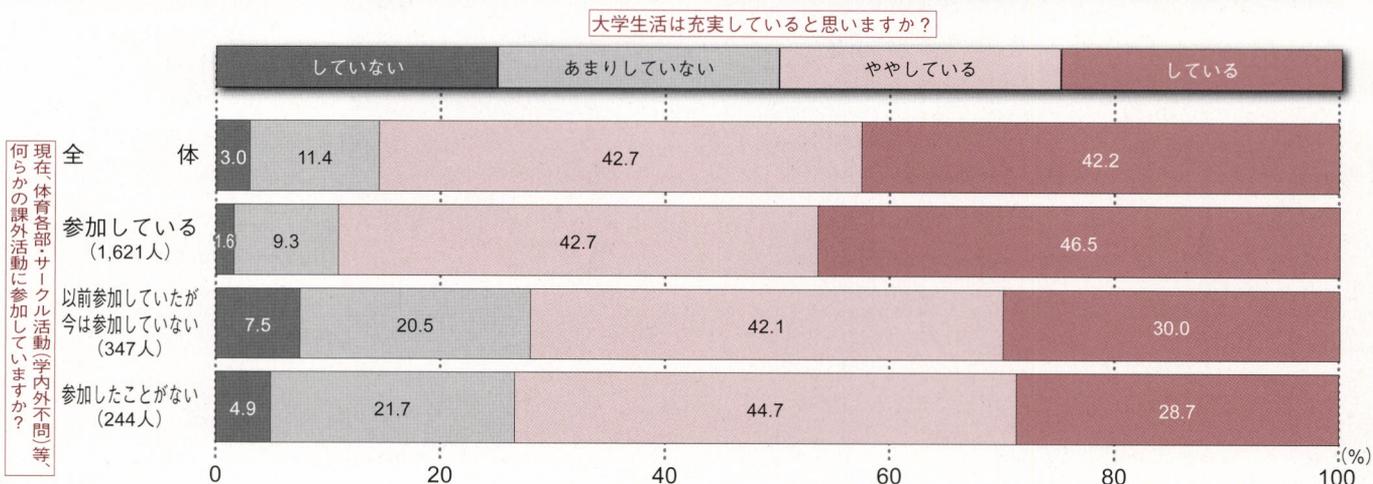


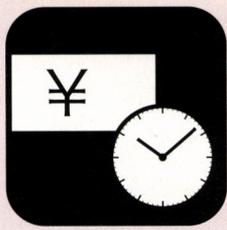
では参加の有無と学生生活の充実度との関係はどのようになっているのでしょうか。

割を超えた程度（73.4%）にすぎません。もちろん課外活動に参加すれば必ず大学生活が充実するわけではありませんが、大学生の日常生活に対する積極的な姿勢は学生生活全体に肯定的な影響を与えることが他の調査で知られています。現在大学生活に不満を抱えている方もちょっと視点を変えてみるとよいかもかもしれません。

課外活動に参加している学生は大学生活が充実「している」と回答する割合が46.5%となっており、「ややしている」とあわせると9割近くになります（89.2%）。それに対して課外活動に参加したことがない学生は充実「している」との回答が28.7%に留まり、「ややしている」とあわせても7

クロス集計 現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？
凡例 大学生生活は充実していると思いますか？





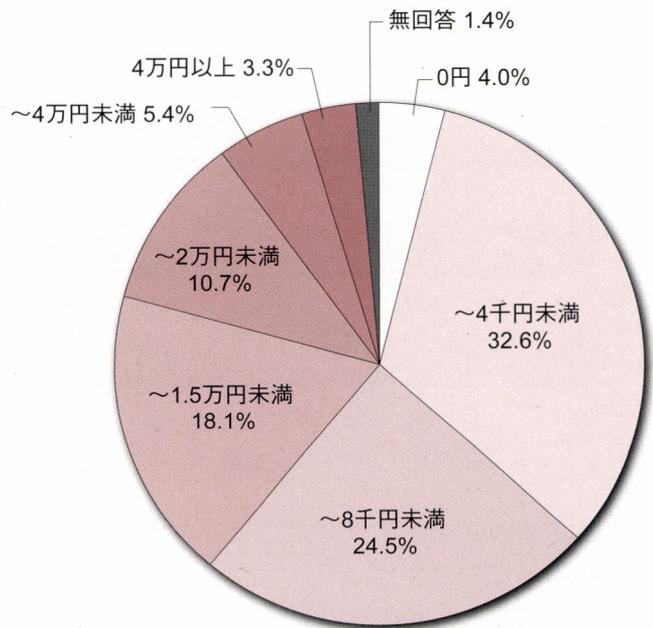
活動と学年によって費用負担と活動時間の違いが大きい

費用と時間

POINT 4,000円未満が男性で**32.0%**、女性では**43.7%**

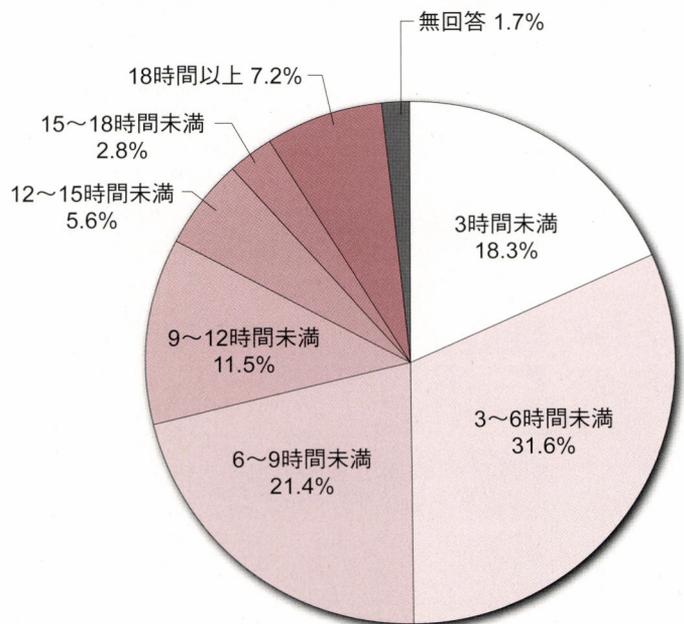
課外活動の費用面に注目すると、全体として月平均4,000円未満という回答が3分の1に達している一方、2万円以上という回答も1割近くに達しており、活動によって費用負担の違いが顕著にあるようです。グラフには示していませんが、性別に注目すると4,000円未満という回答が男性で32.0%であるのに対して女性は43.7%に達していました。また、学年別では1年生で2万円以上出費しているという回答が他の学年よりも少なくなっていました。こうした特徴は活動の違いやサークル活動の個性の反映なのかもしれません。

[課外活動に「参加している」、「以前参加していたが今は参加していない」と回答した人にお尋ねします] 自費で出費する課外活動費は月平均いくらくらいですか(でしたか)?



一方課外活動の時間面に注目すると、全体として週に6時間未満という回答がほぼ5割に達している一方で、週に15時間以上、つまり毎日2時間程度は活動に従事しているという回答も1割に達しています。これは体育各部の活動も一括しているために現れていることが理由らしく、グラフには示していませんが学部間での違いを見るとスポーツ科学部で「18時間以上」という回答が30.2%に達しており、逆に「3時間未満」という回答は5.8%に留まっていました。

[課外活動に「参加している」、「以前参加していたが今は参加していない」と回答した人にお尋ねします] 授業期間中の週平均活動時間を教えてください。



勉強や健康なども勘案しつつ、費用や活動時間の調整が必要かもしれません。



活動内容の不一致、就職活動、人間関係のトラブルが主な理由

不参加・途中退会
の理由

POINT

学業と両立しないという回答が**22.9%**、
自分に合ったサークルがないという回答も**19.3%**

課外活動に「以前参加していたが今は参加していない」、「参加したことがない」理由として挙げられている項目は、「学業と両立しない」(22.9%)、「サークルのあり方に疑問を持った」(22.8%)、「自分に合ったサークルがない」(19.3%)の順となっています。また、「人間関係がうまくいかなかった」も13.2%の回答があり、学部学生に課外活動を通じて体験することが期待される広義の社会体験、他者との相互理解が容易ではないことを示しているようです。

以前参加していたがやめたグループと参加したことがないグループに分けてみると、やめたグループでは「サークルのあり方に疑問をもった」が27.2%ともっとも高くなっているのに対し

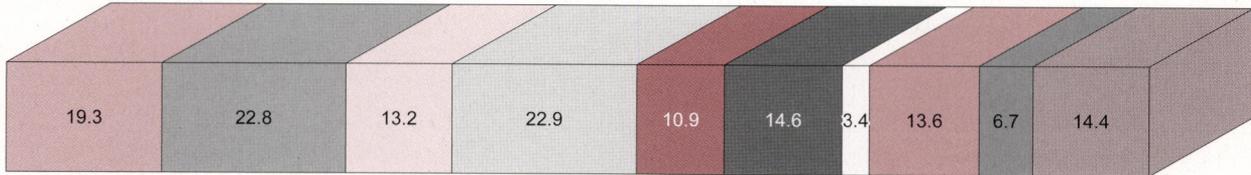
て、参加したことがないグループでは「自分に合ったサークルがない」が25.2%と最も高くなっています。また、「資格試験勉強・就職活動」が参加していたがやめたグループで15.8%に達しており、3年の秋前後でサークル活動から「引退」し、社会に出るための準備を始めるという現代の状況を示唆しているともいえそうです。

そのほか、学部間の違いに注目すると、法学部生は「資格試験勉強・就職活動」(27.1%)と「学生生活に不要」(18.8%)を理由に挙げている割合が他学部よりも有意に高くなっており、国際教養学部は「留学」(29.7%)を理由として挙げている割合が有意に高くなっていました。

クロス集計 サークルを途中でやめた、参加しない理由 [複数回答可]

現在、体育各部・サークル活動(学内外不問)等、何らかの課外活動に参加していますか?

全 体



以前参加していたが今は参加していない



参加したことがない



サークルを途中でやめた、参加しない理由

- 自分に合ったサークルがない
- サークルのあり方に疑問をもった
- 人間関係がうまくいかなかった
- 学業と両立しない
- 資格試験勉強・就職活動
- アルバイト
- 留学
- 金銭的負担が大きい
- 学生生活に不要
- その他



3割の学生はボランティア体験あり、 女性の積極的参加が顕著

ボランティア活動

POINT

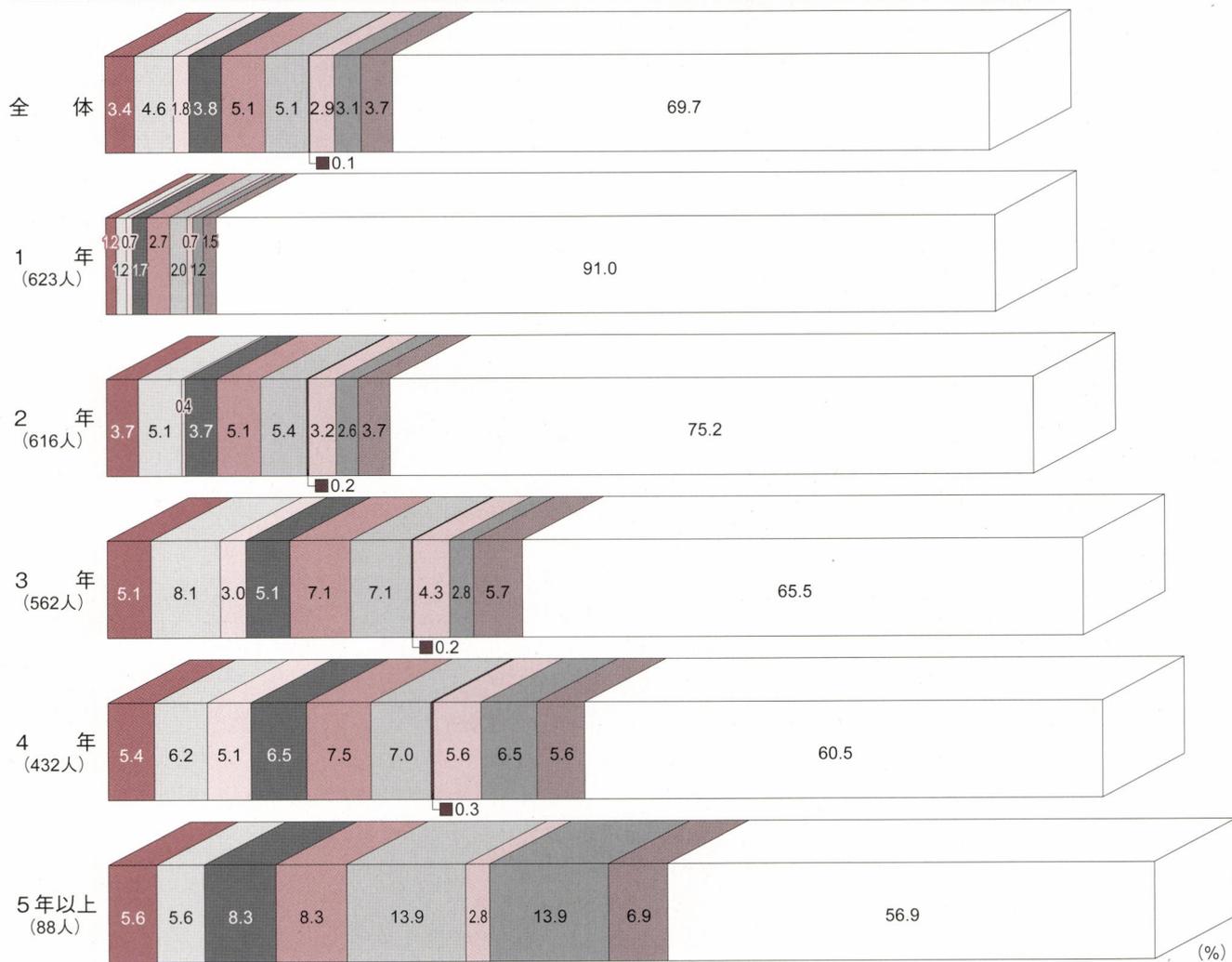
人間科学部の学生は「障がい者支援」**16.7%**や
「幼児・児童支援」**14.9%**など多岐にわたる領域で積極的に参加

学部学生に対して大学生になってからのボランティア活動への参加状況を尋ねたところ、「経験なし」と回答したのが69.7%に達する一方、3割の学部学生は様々なボランティア活動に参加しているようです。

学年に注目すると、1年生は「経験なし」が9割を超えているのに対して、学年が上がるごとにそ

の割合は低下しています。3年生の段階で特に参加率が上昇している活動としては、「幼児・児童支援」や「高齢者支援」といった従来からボランティア活動が盛んな領域だけでなく、「国際協力」といった海外での活動も視野に入れたものが挙げられます。

大学生になってからボランティア活動に参加したことがありますか？ [複数回答可] 学年別 一部抜粋



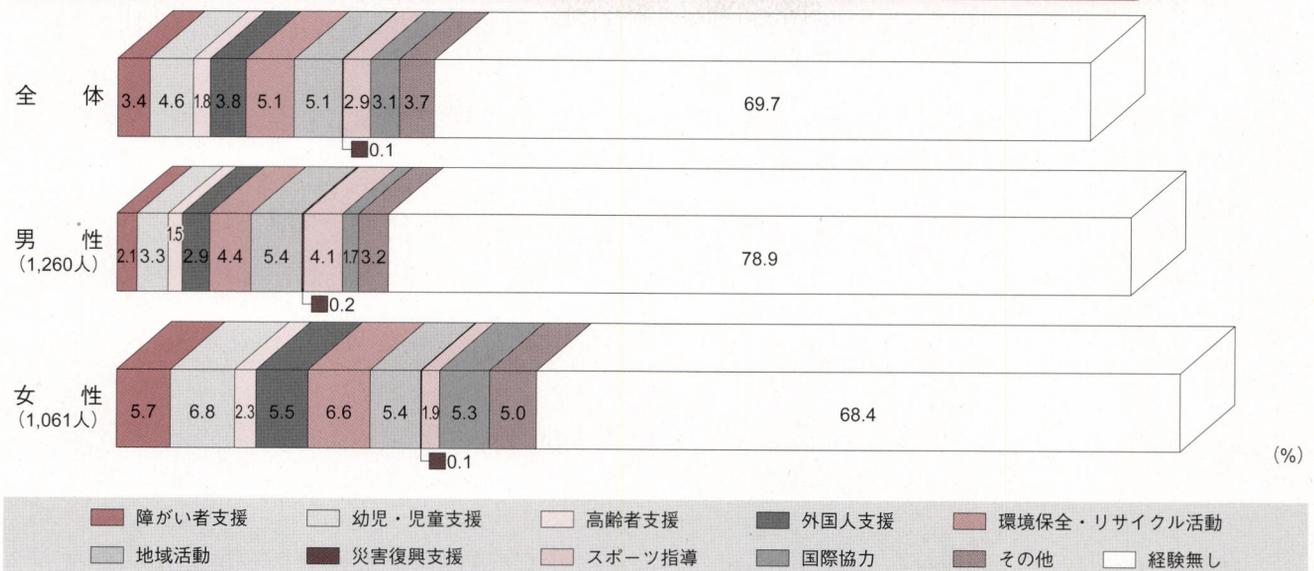
障がい者支援
 幼児・児童支援
 高齢者支援
 外国人支援
 環境保全・リサイクル活動

地域活動
 災害復興支援
 スポーツ指導
 国際協力
 その他
 経験無し

参加者が多いボランティア活動としては、「環境保全・リサイクル活動」(5.1%)、「地域活動」(5.1%)、「幼児・児童支援」(4.6%)という回答が多くなっています。性別で特徴を見ると、「経験なし」の比率が男性で8割弱(78.9%)である

のに対して、女性は7割弱(68.4%)に留まっています。またほとんどの活動、特に「障がい者支援」や「国際協力」において女性の参加率が男性よりも高くなっており、社会的に開かれた活動に対して女性の関心が高いことが示唆されます。

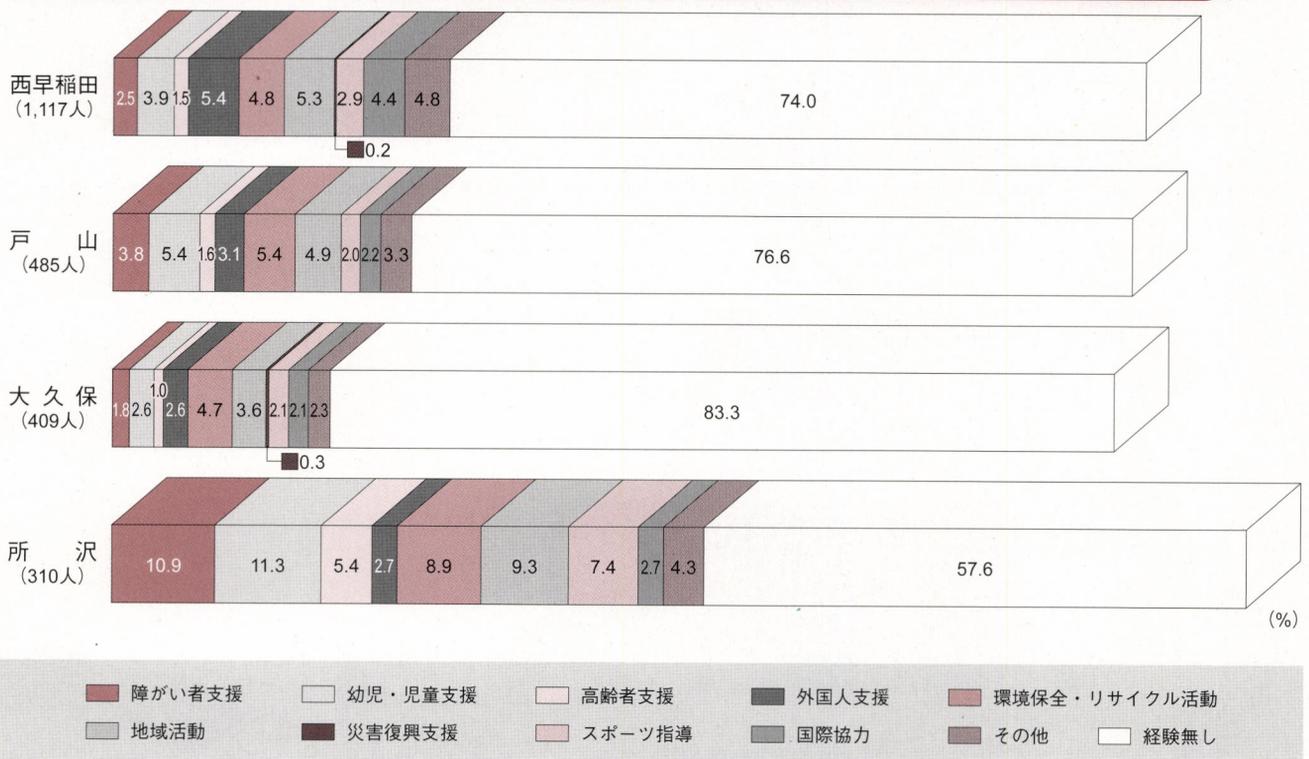
大学生になってからボランティア活動に参加したことがありますか？ [複数回答可] 男女別



なお、キャンパスや学部によっても参加している活動の類型に大きな違いが見られます。所沢キャンパス、とりわけ人間科学部の学生はボランティアに対して関心が高く、活動も多岐にわたっているようです。特に人間科学部の学生は16.7%が

「障がい者支援」に、14.9%が「幼児・児童支援」に参加したことがあると回答していました。また国際教養学部の学生では13.4%が「外国人支援」に、12.4%が「国際協力」に参加したことがあるとのことでした。

大学生になってからボランティア活動に参加したことがありますか？ [複数回答可] キャンパス別



アクティブな早大生像

「現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？」という設問で「参加している」、「以前参加していたが今は参加していない」のいずれかに回答した割合は、約88%でした。何らかの活動に多くの学部学生が、参加している、あるいは、していた、ということになります。それらの回答者の平均授業出席率とクロス集計をしたところ、「参加している」と回答した学生の約75%が授業への出席率が8割以上となっています。

この結果から学問と部活動、課外活動、どちらにも積極的に取り組むという、早稲田大学生の姿勢がこの結果により得られました。

クロス集計

現在、体育各部・サークル活動（学内外不問）等、何らかの課外活動に参加していますか？／凡例あなたのこれまでの授業平均出席率はどれくらいですか？

一部抜粋

